『うちの家は加賀藩の馬引きだった』が前田さんが馬引きだったととれる記述で誤解がありますが、内容は参考になるでしょう。

Gemini
Q:
家の家系は加賀藩でうちの家は加賀藩の馬引きであったと伝わっています。前田という苗字の親戚が居て、父の姉の配偶者です。その姉から伝わっていました。『うちの家は加賀藩の馬引きだった』と聞かされていたようです。時代によって違うでしょうが、この加賀藩の馬引きというのはどういう地位なのでしょうか？どうかよろしくお願い致します。

A:
加賀藩でお家の家系が馬引きであったとのこと、ご先祖様の歴史に興味をお持ちなのですね。
前田家は加賀藩の藩主であり、そのご親戚に当たる前田姓の方との繋がりもあるとのこと、大変興味深いお話です。お父様の姉上様から「うちの家は加賀藩の馬引きだった」と伝え聞いていらっしゃるのですね。

馬引きという言葉から、文字通り馬を引く仕事、つまり馬の世話をする人を想像されるかもしれません。しかし、加賀藩のような大きな藩における「馬引き」は、時代や藩の制度によってその意味合いや地位が異なっていた可能性があります。

ここでは、いくつかの視点から「加賀藩の馬引き」について考察し、どのような地位であったのか、可能性を探ってみたいと思います。

\*\*1.  「馬引き」の文字通りの意味と役割\*\*

まず、「馬引き」を文字通りに解釈した場合、藩において馬に関わる仕事に従事していたと考えられます。

\* \*\*馬の世話:\*\* 具体的には、藩主や藩士が乗る馬の手入れ、餌やり、厩舎の掃除など、馬の日常的な世話全般です。
\* \*\*馬の訓練:\*\* 軍馬や藩主の乗馬などを訓練することも含まれていたかもしれません。
\* \*\*馬の警護:\*\*  藩主や重要な人物が馬に乗る際に、警護のために馬を引く役割も考えられます。特に大名行列などでは、多くの馬が使用され、馬を引く人手が不可欠でした。[Image
of 大名行列 馬引き]（大名行列で馬を引く人のイメージ）

\*\*2.  藩における「馬」の重要性と馬に関わる役職\*\*

江戸時代の藩において、馬は非常に重要な存在でした。

\* \*\*武士の象徴:\*\* 馬は武士の身分を示す象徴であり、武士にとって馬術は重要な武芸の一つでした。
\* \*\*軍事力:\*\*  戦の際には、騎馬武者や軍需物資の運搬に馬は不可欠な戦力でした。
\* \*\*交通手段:\*\* 大名や役人の移動、物資の輸送など、藩内の交通手段としても馬は重要でした。

このように重要な馬を扱う役職は、藩内で一定の地位を与えられていた可能性があります。  「馬廻り役
(うままわりやく)」という役職は、藩主の乗馬の世話や献上された馬の管理などを行う役職で、比較的格式の高い役職でした。しかし、「馬引き」が直接「馬廻り役」のような高い地位であったとは断定できません。

\*\*3.  「馬引き」の身分と階層\*\*

加賀藩の馬引きがどのような身分階層に属していたか、いくつかの可能性が考えられます。

\* \*\*御馬預 (おうまあずかり) の下役:\*\*
加賀藩には「御馬預」という馬に関する役職があり、藩所有の馬の管理や牧場の管理などを行っていました。「馬引き」は、この御馬預の下で実際に馬の世話をする下役であった可能性があります。この場合、武士身分ではなく、町人や百姓身分から採用された可能性があります。
\* \*\*足軽 (あしがる) 身分:\*\*
足軽は武士身分の中で最も低い階層ですが、藩によっては足軽が馬の世話や訓練を担当していた例もあります。この場合、「馬引き」は足軽身分であった可能性があります。
\* \*\*御徒 (おかち) 身分:\*\*
御徒は徒歩で藩主の警護などを行う役職で、身分は足軽よりやや高い程度ですが、やはり下級武士です。御徒が馬の世話を兼務していた可能性も否定できません。

\*\*4.  加賀藩における馬引きの独自性\*\*

加賀藩は、江戸幕府の中でも特に格式の高い大藩であり、独自の藩制度を持っていました。加賀藩における馬引きが、他の藩と異なる特徴を持っていた可能性も考慮する必要があります。

\* \*\*前田家の馬術:\*\* 前田家は、古くから馬術に優れていたとされ、藩内でも馬術が奨励されていた可能性があります。そのため、加賀藩の馬引きは、高度な馬術技能を持っていたかもしれません。
\* \*\*牧場の存在:\*\* 加賀藩は、藩内に広大な牧場を持っており、軍馬や乗用馬を育成していました。これらの牧場に「馬引き」が勤務していた可能性もあります。[Image
of 加賀藩 牧場] （加賀藩の牧場のイメージ、現代の牧場風景でも可）

\*\*5.  時代による変化\*\*

江戸時代は約260年と長く、時代によって藩の制度や社会状況は変化しました。

\* \*\*太平の世:\*\* 江戸時代中期以降、戦乱が少なくなり太平の世が続くと、軍馬の重要性は相対的に低下し、馬の役割も変化した可能性があります。それに伴い、「馬引き」の地位や役割も変化したかもしれません。
\* \*\*幕末・維新:\*\* 幕末維新期には、西洋式の軍制が導入され、従来の馬の役割は大きく変化しました。加賀藩も戊辰戦争に参加しており、この時期には馬引きの役割も大きく変わったと考えられます。

\*\*結論と今後の調査\*\*

現時点では、「加賀藩の馬引き」が具体的にどのような地位であったかを断定することは難しいですが、いくつかの可能性が考えられます。

\* \*\*可能性の高い身分:\*\* 足軽身分、または御馬預の下役（町人・百姓身分）
\* \*\*役割:\*\* 馬の世話、訓練、警護など、馬に関わる幅広い業務
\* \*\*地位:\*\*  決して高い身分ではありませんが、藩にとって重要な馬を扱う役職として、一定の役割を担っていたと考えられます。

ご先祖様がどのような「馬引き」であったのかを特定するためには、さらに詳細な調査が必要です。

\* \*\*加賀藩史料の調査:\*\* 加賀藩の藩史や記録の中に、「馬引き」に関する記述がないか調べてみる。
\* \*\*古文書調査:\*\* ご実家に古文書などが残っていないか確認し、もしあれば解読を試みる。
\* \*\*菩提寺の過去帳:\*\*  菩提寺に過去帳が残っていれば、過去帳に記載された先祖の職業などを確認する。
\* \*\*地域史料館・博物館:\*\*  地域の史料館や博物館で、加賀藩や馬に関する資料を探してみる。

これらの調査によって、ご先祖様の「馬引き」としての具体的な役割や身分、そして加賀藩における「馬引き」の地位について、より詳しく知ることができるかもしれません。

今回のお話が、ご先祖様の歴史を紐解くための一助となれば幸いです。